
情報活用能力を育てる技術・家庭科の授業

情報とコンピュータの基礎・基本の学習について

岡部中学校 （実践・報告者） 西河 正雄

1 題材名 「コンピュータの基本的な構成と機能を知り、操作をしよう」

2 題材設定の理由

コンピュータは、これからの情報通信ネットワーク時代にはなくてはならないものの一つとして、情報・処理・発信の3つの内容の中核を示していくもののなかからも重要である。

生徒にソフトウェアやハードウェアを利用した情報通信技術を学習させることは、「生きる力」を育むうえで必須のことである。

3 情報機器活用の意図・情報教育の視点

「情報とコンピュータ」の学習では、高度情報通信社会の進展を踏まえ、情報活用リテラシーを育成する観点から、コンピュータの活用に必要な基礎的・基本的な内容を実践的・体験的な学習活動を通して学習する。

「情報とコンピュータ」を学習させながら、情報の基礎的な学習をマスターさせ、目的に応じた情報機器やメディアを活用させていきたい。

「情報とコンピュータ」を扱いながら、文書作成・表計算・図形処理等の学習させ、ソフトの活用ができる力を身につけさせたい。

4 題材の指導

（1）目標

表計算ソフトウェアの機能を習得することにより、数値・数式で表されている簡単な表計算をソフトを用いて作品をつくることができる。

（関心・意欲・態度）

例示のテーマや身の回りのテーマを取り上げ、個性的な作品を完成できるようにする。

（技能・工夫創造）

表計算ソフトウェアの機能の役割を理解する。

（知識・理解）

（2）指導計画（15時間）

コンピュータの機能（1時間）

コンピュータの操作（4時間）〔本時2 / 4〕

マルチメディアを活用して表現や発信をしよう（9時間）

これからの情報社会（1時間）

（3）本時の指導

表計算ソフトウェアを利用して、身の回りのテーマを決め、作品をつくることができるようにする。

(4) 展開の概要

学 習 内 容	学 習 活 動	指 導・評価上の留意点
起 動 本時の課題	起動→エクセル	・ 起動の状況を確認する。(技)
表計算ソフトウェアを利用して、簡単な家計簿づくりをしよう。		
プリントの配布 実際に入力	数値を入力 単価・個数 数式を入力 合計・残金	・ プリントを説明する。(関) ・ プリントに数値を入れる(工) ・ プリントに数式を入れる(工) 入力するものには、 単価・個数・合計・残金 がある。 どの部分に数値を、どの部分に 数式を入れるかを確認する。
体裁良く加工する	セルの意味 罫線を書く	・ セルの太枠にデータを入力させることを確認させる(理) 頭のなかで、できる簡単な計算 でも、コンピュータを利用しな がら操作していく。
ファイルに保存 次時の予告 グラフの作成	入力したデータを判り やすくみてみよう。	・ 判りやすい表にするために罫線 を入れ、計算もしやすくなる。 (工)

〔資料〕

	A	B	C	D	E	F	G
1	月 日	収 入	支 出				
2			品 名	単 価	個 数	合 計	残 金
3	12/ 1	100000					100000
4			ノ ー ト	300	5	1500	98500
			紅 茶	500	1	500	98000

5 成果と今後の課題

コンピュータ学習では、生徒が特に意欲的に楽しく取り組んでいる。コンピュータ学習にはさらにデジタルビデオなどもあり、生徒の興味を引き出すものもかなり多くある。技術・家庭科で基礎的な知識を培い、加速度的に発展する情報化社会を生きる生徒にとって、コンピュータから学ぶものは膨大な内容であることが判った。これからも、情報とコンピュータの学習を基盤に、情報教育の発展に様々な題材で学習指導を展開させていく必要がある。